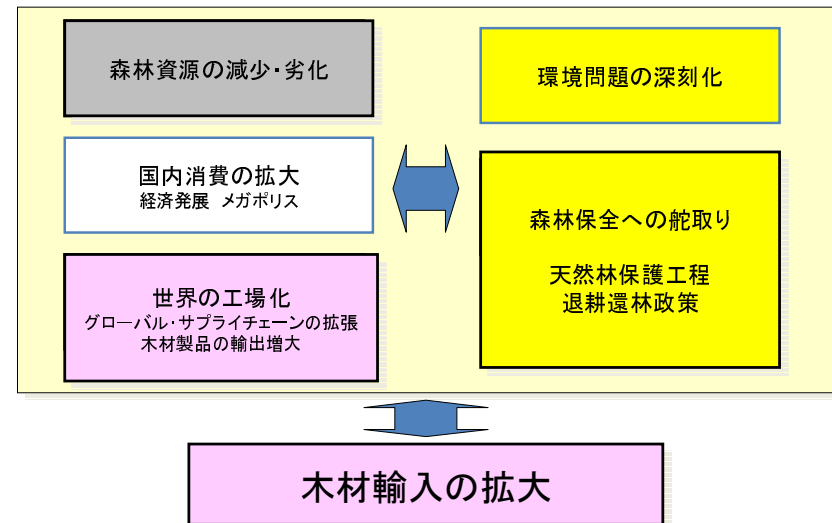


日本向け中国製木材製品の フットプリント (現地取材に基づいて)

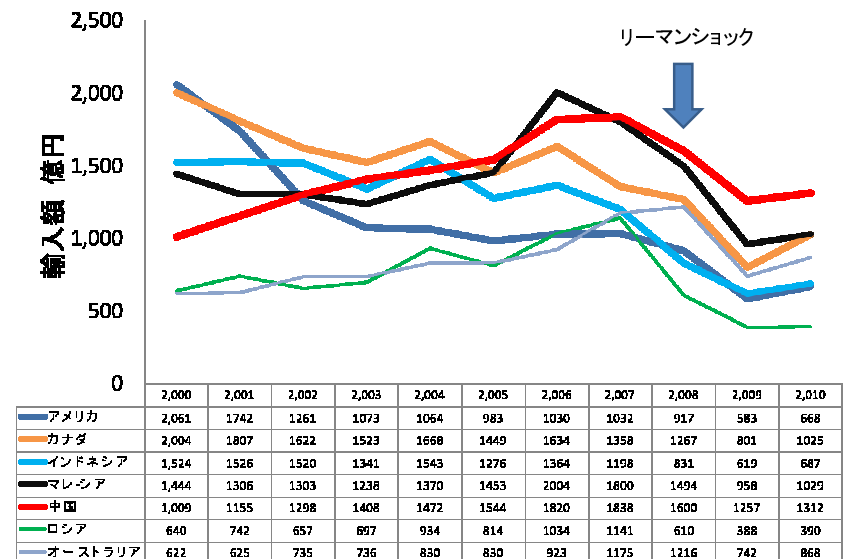
神奈川自然環境保全センター
山根正伸



中国における木材事情

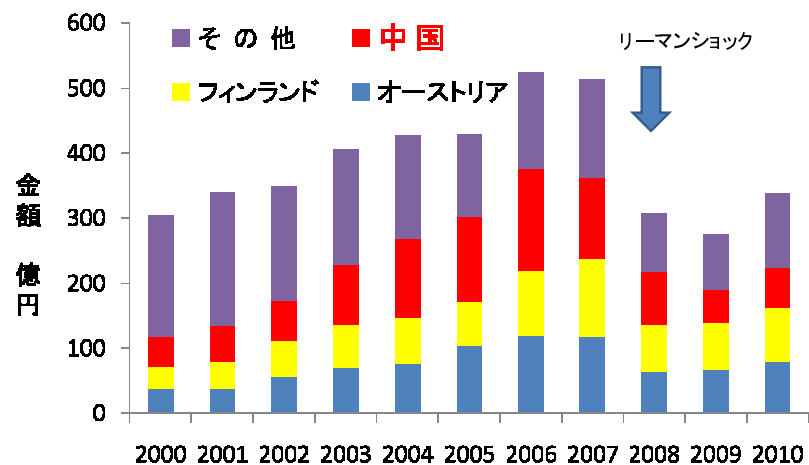


日本における木材製品の輸入



出典: 林野庁資料輸入統計: 品目表第 44 類(木材及びその製品並びに木炭)の合計

日本における集成材の輸入



中国における木材製品の輸出動向

年度	全林産物貿易額 (億米ドル)	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2001	47.44	米国 31.75	日本 23.48	香港 15.69	韓国 4.05	英国 3.68
2005	146.61	米国 30.95	日本 15.89	香港 9.69	英国 4.2	韓国 3.21
2008	334.88	米国 27.01	日本 10.98	英国 4.78	香港 4.15	カナダ 3.3
2009	268.51	米国 28.09	日本 9.71	英国 5.85	香港 5.82	オーストラリア 3.34

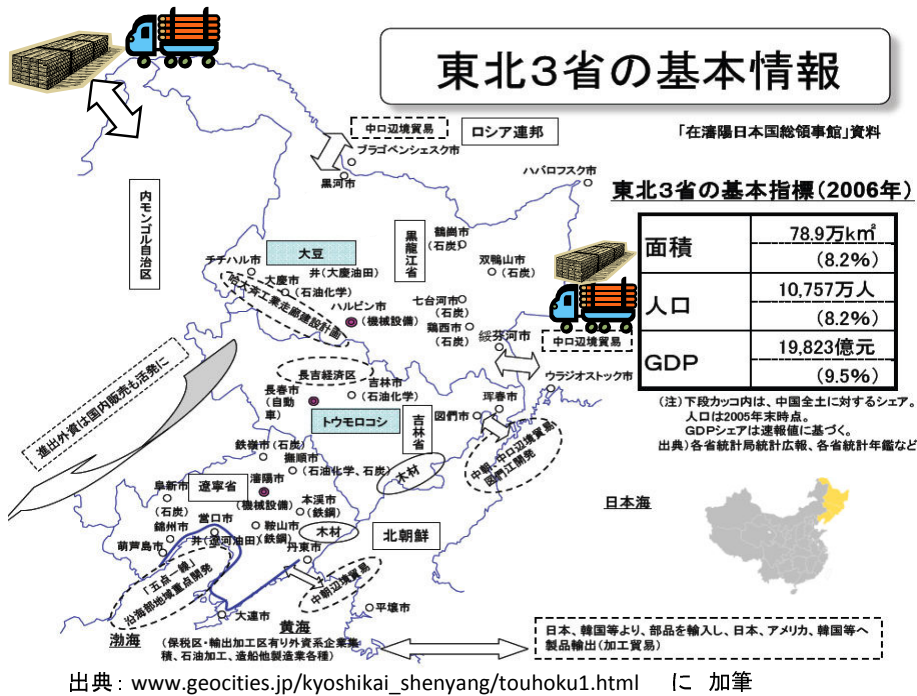
国名と割合% 出典 中国林業発展報告

中国における木質家具の輸出動向

年度	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
2001	米国 47.72	香港 18.8	日本 12.98	英国 3.8	台湾 2.47
2005	米国 48.28	香港 12.19	日本 7.96	英国 5.95	オーストラリア 3.36
2008	米国 41.15	英国 7.39	日本 6.86	オーストラリア 4.6	カナダ 4.38
2009	米国 35.37	英国 6.93	日本 6.65	シンガポール 5.88	オーストラリア 4.3

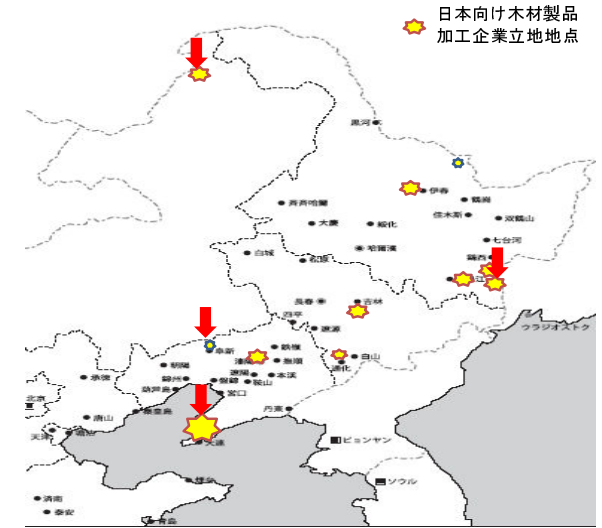
国名と割合% 出典 中国林業発展報告



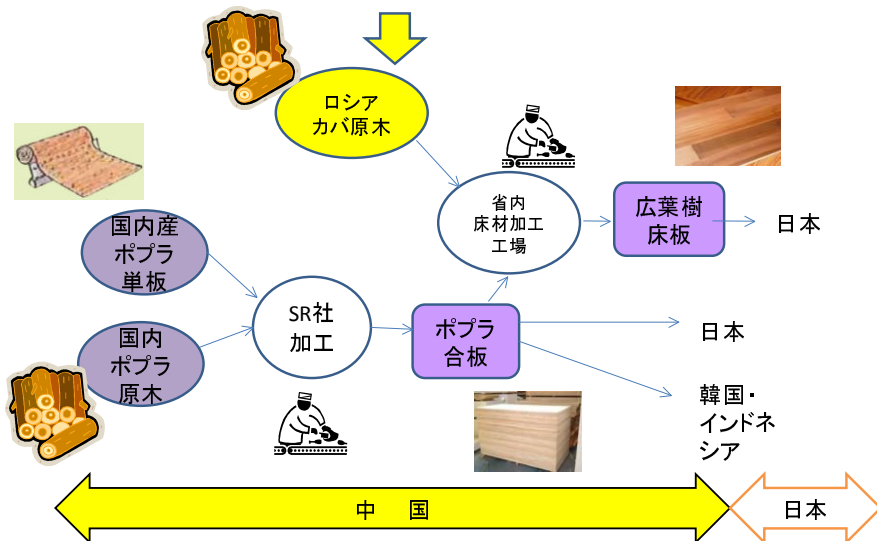


中国東北部における 日本向け木材製品加工企業の立地

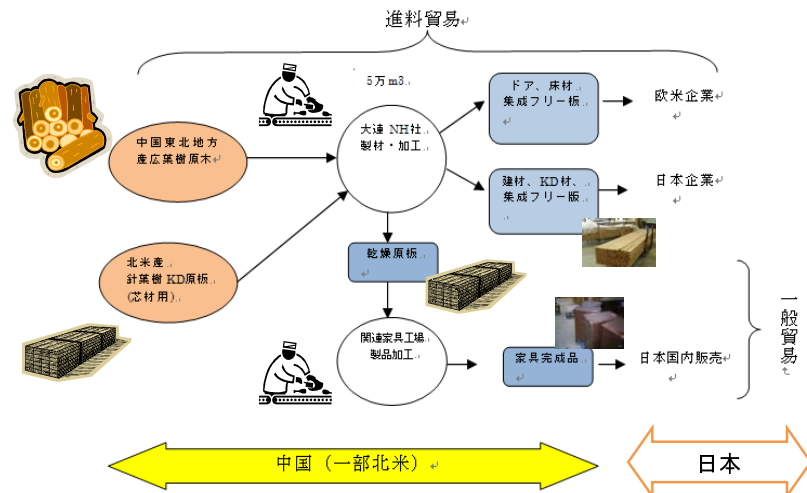
- 沿岸域
 - 遼寧省大連市
- 内陸部
 - 遼寧省瀋陽市
 - 阜新市
 - 吉林省吉林市
 - 敦化市
 - 黒竜江省伊春市
- 国境域
 - 内モンゴル自治区満州里市
 - 黒竜江省牡丹江市
 - 綏芬河市
 - 東寧県



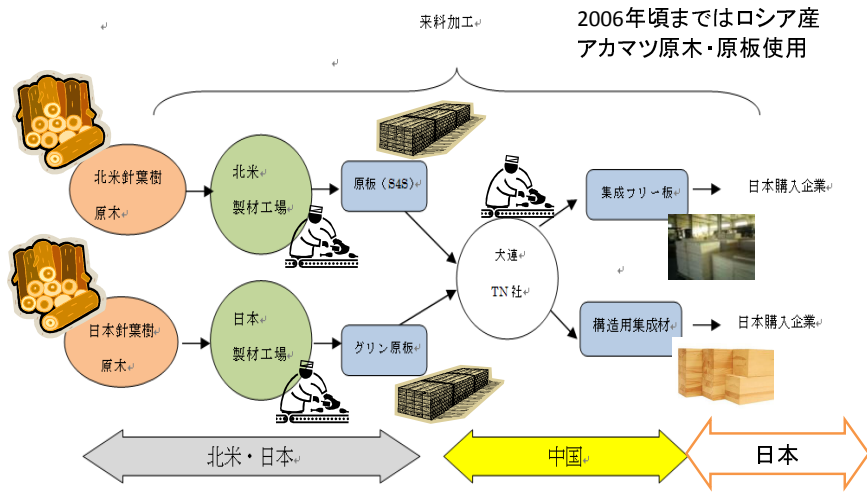
遼寧省SR社製品のフットプリント



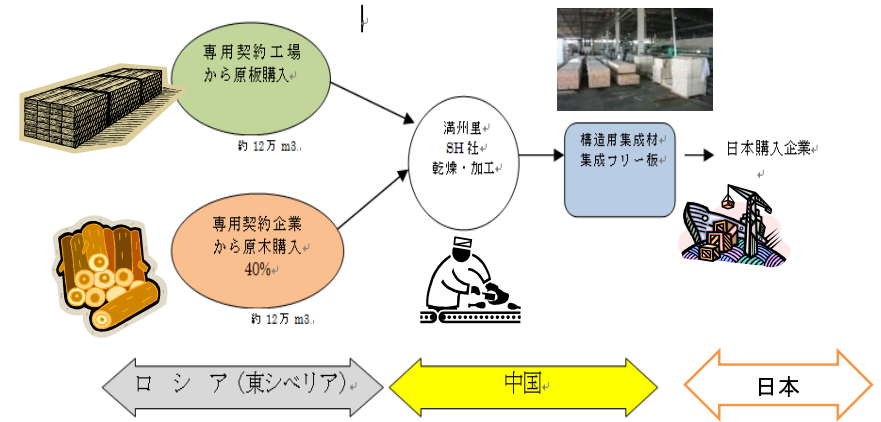
大連NH社製品のフットプリント 2010年時点



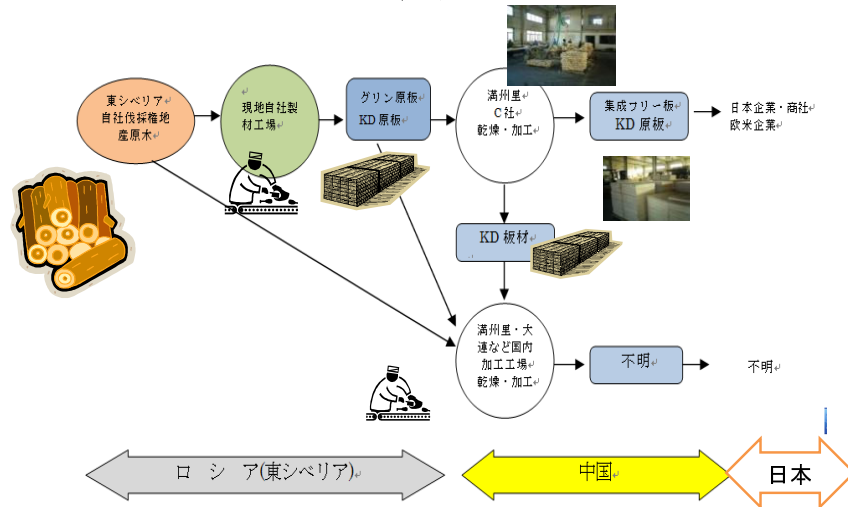
遼寧省大連市TN社製品フットプリント



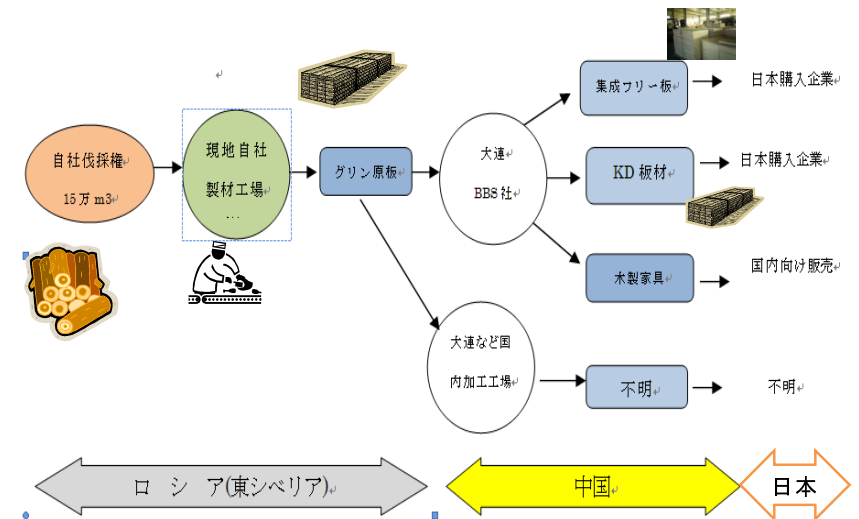
満州里市SH社製品フットプリント



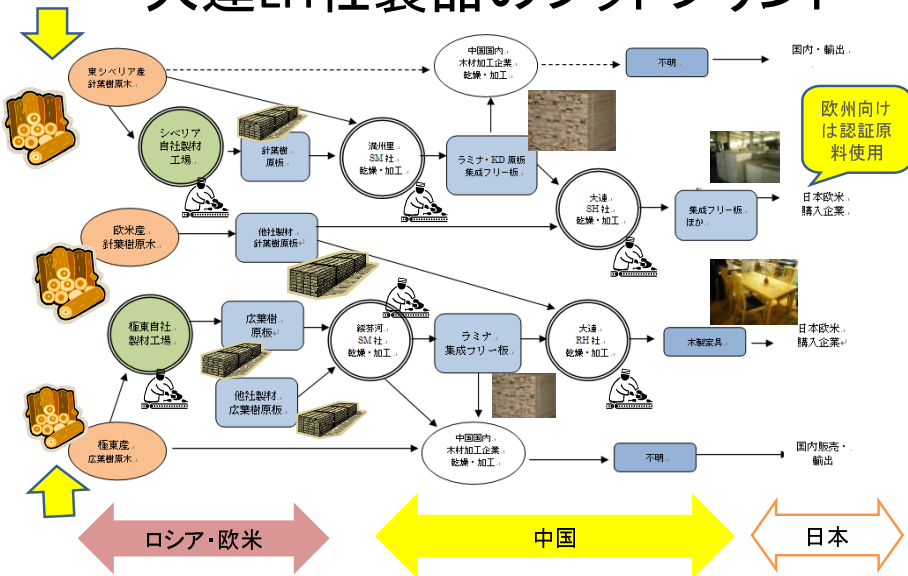
満州里市FH社製品フットプリント



大連市BBS社の製品フットプリント



大連LH社製品のフットプリント



原料調達方式のまとめ

タイプ	概要
A	現地に自社あるいは提携サプライヤーが伐採権を持つ森林のみから原木を調達して、現地の自社工場に運び板材に製材、輸入して自社あるいは自社の協力工場加工し輸出。
B	現地に、長期リースや短期リースにより自社あるいは提携サプライヤーが伐採権を持った森林から原木を調達するとともに、周辺で伐採された原木を買い付け、現地自社工場に運び板材に製材・輸入して加工。
C	主に国内の林業局などから原木を調達して、自社で製材・乾燥・製品に加工。
D	納入先から供給される板材を輸入して輸入地点の沿岸部や国境地区などに立地する自社工場で加工して輸出し納入する形態。
E	国境の通関地点市場や地元の木材市場で原木や板材を相対取引により購入して、自社で製品に加工して輸出する形態。



- a. 日本向け製品における合法性確認方法
- b. 合法原材料調達の難しさ
- c. 中国での森林認証制度導入の動向

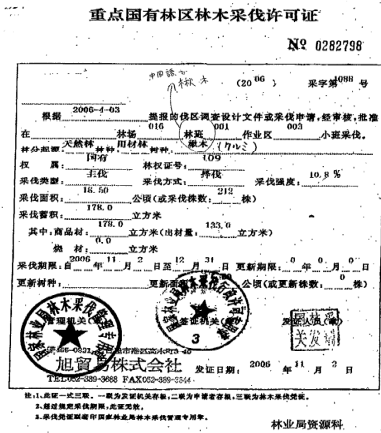
中国における合法木材調達の課題

日本向中国製品の合法性確認方法

	原料調達時点		加工品輸出時点
	国外	国内	
原産地証明書	○	—	○
植物検疫書類(夏季皮付丸太)	○	—	—
特定樹種特別許可書(動植物絶滅危惧種検査証)	△	△	○
伐採許可書	△	○	
輸送許可書	△	○	

○：必須、△：任意（必要に応じて通関時に確認）、—：不要

伐採許可書の例



輸送許可書の例



合法製品調達の課題

まだ少ない日本からの調達要求

- 要求は一部の大手輸入企業などに限定
- 中小輸入企業などは、ほとんど無関心、要求なし
- 日本向け製品には、認証材製品にプレミアがないのが現状

合法原材料調達の困難性

- 中国産原料は、合法性証明書類確認が容易
- 対して、輸入木材は、原産国内での生産・輸送確認書類入手が困難なケースが多い。最近では認証木材の利用も拡大。
- とくにロシア材は合法性確認書類は不完全な場合が多い。

依然として高いロシア材への依存度

- ロシア原木輸出税引き下げの動き→針葉樹材輸入の回復可能性大
- 極東・東シベリアには認証森林がほとんどない。
- 高級広葉樹材は、中国国内でほぼ枯渇しロシア材頼みの状況

中国での森林認証制度導入動向

- ◎ 2001年よりFSC認証の検討・試験導入が進む。並行して国内認証基準の検討が始まる。
- ◎ 2010年12月現在、中国独自の森林認証制度(CFCC)の普及に向けた取り組みが開始。
- ◎ 2015年までに国家森林認証システムを完成させ、PEFCとの国際相互認証の実現の見込み。
- ◎ 国内にFSC認証森林が21箇所、137万haあるが、FSCを無効化する動きが進んでいた。(※急転直下2013年FSC中国認証基準発足へ:2011年9月)

まとめ

- 中国から日本に向けた木材製品貿易は活発。
- 中国東北部には、沿岸部、内陸部、国境部に日本向け木材製品加工工場が立地。
- 原料調達方式は5タイプあり、合法性確保や遡及性に問題があるケースがある。
- 中国国内産原料では遡及資料確認が容易だが、輸入材は十分でないケースがある(とくにロシア材)。
- 中国では国内森林認証導入が進められており、PEFCとの連携が見込まれている。